

科目名	Pro Tools 1							年度	2024
英語科目名	Pro Tools Training 1							学期	前期
学科・学年	音響芸術科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	吉田光宏	教員の実務経験		有	実務経験の職種		エンジニア・作編曲家		
【科目の目的】 Pro Toolsの設計・製造・販売元Avid社認定のワールドワイドな資格である、Avid社公認Pro Tools101の取得を目標とする。									
【科目の概要】 Avidの提供する Pro Tools Fundamentals I (PT101) に準じた授業を行う。									
【到達目標】 A. パソコンにPro Toolsをインストールして使用できる B. デジタルオーディオをよく理解し全ての設定を理解できる C. Pro Toolsでセッションとトラックを作成し録音を始めることができる D. オーディオとMIDIのレコーディングと編集ができる									
【授業の注意点】 必ずメモを取りながら受講する事。また理解できないことが生じた場合は積極的に質問する事。授業中に私語や居眠りはしない事。授業中に発言を求められた場合は大きくハッキリと答える事（それを習慣付けることによって就職活動にも役立ちます）。パソコンが得意になれるように積極的に使用し、できれば購入する。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	自己所有のパソコンに正しくPro Toolsをインストールし使用している。	自己所有のパソコンの様々な設定ができる。	パソコンの基本的なオペレーティングができる。	パソコンが少しわかるようになった。	パソコンが苦手。				
到達目標 B	デジタルオーディオをよく理解し全ての設定を理解している。	サンプリング周波数とビットデプスが用途に合わせて設定できる。	サンプリング周波数はわかるがビットデプスがよく分からない。	デジタルオーディオは分かるが設定に迷う。	デジタルオーディオが分からないので設定ができない。				
到達目標 C	Pro Toolsでセッションとトラックを作成し録音を始めることができる。	Pro Toolsのトラックの種類をよく理解している。	Pro Toolsのセッションとトラックを作成できる。	Pro Toolsのセッションは作れるがトラックが作れない。	Pro Toolsのセッションが作れずセッションを開くこともできない。				
到達目標 D	オーディオとMIDIのレコーディングと編集ができる。	オーディオとMIDIのレコーディングができる。	オーディオの録音はできるがMIDI入力ができない。	オーディオの録音と編集ができる。	オーディオの録音ができない。				
【教科書】 Avid認定のPro Tools 101テキスト									
【参考資料】 授業内で配るプリント又はPDFファイル									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づいて行う。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		Pro Tools 1			年度	2024
英語表記		Pro Tools Training 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	Pro Toolsとは何か？授業の概要	Pro Toolsを理解する。 授業のテーマを理解する	1 Pro Toolsの説明	なぜPro Toolsが世界で使われているかを理解する。	3	
			2 Pro Tools101テキスト	Avidの教育プログラムPro Tools101を理解する。		
			3 Pro Tools101試験	学期末に受験するPro Tools101試験について理解する。		
2	Pro Toolsインターフェースの構造について	Pro Toolsがどのような構造で作成されているか理解する	1 セッションの作成	セッションという名のドキュメントを覚える。	3	
			2 ウィンドウの構成	重要なウィンドウを理解する。		
			3 ミックスウィンドウ	ミックスウィンドウのセクションを理解する。		
3	Pro Toolsのトラック	様々なPro Toolsのトラックについて理解する	1 トラックの作り方	トラックを作る方法を覚える。	3	
			2 トラックの種類	トラックの種類について理解する。		
			3 トラックの機能	それぞれのトラックの機能について理解する。		
4	編集ウィンドウ	編集ウィンドウを理解する	1 概要	編集ウィンドウのインターフェースを理解する。	3	
			2 編集作業とは	オーディオを編集するとはどういうことか理解する。		
			3 編集モード	4つの編集モードを理解する。		
5	編集ツール	編集ツールを理解する	1 編集ツール	それぞれの編集ツールの機能を覚える。	3	
			2 裏機能	編集ツールの裏機能を覚える。		
			3 編集モードとツール	編集モードと編集ツールの組み合わせを理解する。		
6	インサートセクション	インサートセクションとは何か？	1 プラグイン	プラグインが入っていることの理解。	3	
			2 エフェクト	エフェクト系のプラグインの種類を理解する。		
			3 インストゥルメント	インストゥルメント系のプラグインの使い方。		
7	レイテンシー	デジタル機器におけるレイテンシーを知る	1 レイテンシーとは	レイテンシーの起こる原因やセクションについて。	3	
			2 H/Wバッファ	H/Wバッファの設定に対するレイテンシー。		
			3 プレイバックエンジン	プレイバックエンジンの設定ができるようになる。		
8	MIDI	MIDIを理解する	1 MIDIとは何か	MIDIとはどのようなデータかを理解する。	3	
			2 インストゥルメント	MIDIとインストゥルメントトラックを使用する。		
			3 MIDIの入力	Pro ToolsでMIDIを入力する。		
9	MIDIの編集	MIDIを編集できるウィンドウを知る	1 MIDIエディター	MIDIエディターウィンドウでの編集。	3	
			2 楽譜エディター	楽譜エディターウィンドウを使用する。		
			3 イベントリスト	MIDIイベントリストで確認する。		
10	オートメーション	オートメーションを使用する	1 ラインを書く	オートメーションラインを書いてみる。	3	
			2 プレイバック	プレイバックしながら書き込む。		
			3 モード	オートメーションモードを理解する。		
11	メモリーロケーション	メモリーロケーションを理解する	1 タイムライン	タイムベースルーラを理解する。	3	
			2 マーカーの入力	適切にマーカーを入力する。		
			3 メモリーロケーション	様々なメモリーロケーション機能の理解。		
12	ナッジ機能	ナッジ機能を使用する	1 ナッジできるもの	どのようなセクションがナッジできるかを理解する。	3	
			2 ナッジ値の設定	ナッジ値の設定とそのショートカットを学ぶ		
			3 編集モードとナッジ	編集モードとナッジ機能の関係を理解する。		
13	ミキシング	ミキシング作業をできる様になる	1 エフェクト処理	プラグインを理解し適切にエフェクト処理をする。	3	
			2 サウンド処理	パンやレベルを調整しサウンドを構築する。		
			3 2Mixの構築	2Mixを作るためのバウンス作業の種類を理解する。		
14	保存	作業の保存方法を使い分ける	1 上書き保存	上書き保存の用途を理解し使用する。	3	
			2 別名で保存	別名で保存の用途を理解し使用する。		
			3 コピーを保存	コピーを保存の用途を理解し使用する。		
15	101試験	101試験の方法を理解し受験に備える	1 アカウントの作成	Avidのアカウントの作り方と注意事項。	3	
			2 試験への入り方	Pro Tools 101試験の入り方を理解する。		
			3 受験方法	受験時の解答方法や採点方法を理解する。		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等